

事例検討様式

事前課題「事例検討」について

■受講希望者は、入所者への対応について現在課題がある事例(検討してほしい事例)を簡潔にまとめ、推薦書と同時に提出してください。

■留意事項

- ①A4 版用紙(縦)、横書き(字数 40 字×30 行×**i 枚以内**)
- ②文体は、常体(「…だ。…である。」)にすること
- ③添付様式を使用すること

※試験センターホームページの「合宿研修」ページより様式をダウンロードして入力いただけます。コピーしてそのまま研修資料とするため、手書きは避けることを推奨します。

■「事例検討」の科目は、現場においてすぐ役立つ手法を獲得することが目的です。このためには事例の課題設定の仕方が重要であるため、次の流れで課題提出が課される旨をご了承ください。

【1回目提出(推薦書と同時)】 受講希望時点において、入所者への対応について現在課題がある事例(検討してほしい事例)を、下記の記載内容に沿って簡潔にまとめて提出する。

↓ 受講決定後

【2回目提出(受講決定後)】 受講が決定した者には、「事例のまとめ方に関する資料」を送付します。受講決定者はこの資料を熟読の上、1で提出した事例を修正し再提出いただくこととなります。

■記載内容の項目*****

1. 受講希望者情報

- ①都道府県・市名:*****県(*****市)
- ②施設名:*****苑
- ③職種名:
- ④受講希望者氏名:

2. 検討したい事例の「題名」

(※事例の内容がわかるように工夫すること)

3. この事例を取り上げた理由・動機

4. 事例の概要 (※利用者個人が特定できないように配慮すること)

(1) 氏名・性別・年齢	(例)A 氏 ・ 男性 ・ 昭和 3 年生まれ(89 歳)
(2) 入所期間	○年○か月
(3) 現在の傷病名	
(4) 要介護度・自立度・ADL/IADL	
(6) 家族状況・関係	
(7) 生活歴	
(8) これまでの経過	(これまでの状況や支援、現状など)

5. 検討して欲しい課題(箇条書きで1つのみ)